

2016年3月23日

各位

株式会社 りそなホールディングス
株式会社 りそな銀行
株式会社 埼玉りそな銀行
株式会社 近畿大阪銀行
りそなアセットマネジメント 株式会社

お客さまの資産形成サポートの更なる強化に向けた取組みについて

りそなホールディングス(社長 東 和浩)ならびにグループのりそな銀行(社長 東 和浩)、埼玉りそな銀行(社長 池田 一義)、近畿大阪銀行(社長 中前 公志)、りそなアセットマネジメント(社長 西山 明宏)は、個人のお客さまの資産形成サポートの一環としてフィデューシャリー・デューティー[※]の実践に向けた取組みを強化してまいります。

りそなグループではこれまで、りそな銀行の信託部門を通じ約50年にわたり年金運用の分野を中心に資産運用ビジネスを展開し、現在、約16兆円の資産を運用する国内トップクラスの運用機関としてお客さまの資産形成をサポートしてまいりました。2015年8月には信託銀行として培ったプロ向けの運用力を、グループのネットワークを通じて幅広いお客さまへ提供すべく、りそなアセットマネジメントを設立し、広くお客さまの資産運用ニーズにお応えするための取組みを行っています。

近年、金融機関のフィデューシャリー・デューティーに基づいた取組みが注目され、よりお客さま本位の金融サービスを提供することが求められている中、お客さまの信頼に一層お応えするため、新たに資産運用ビジネスにおける従業員の行動基準の制定や、社外有識者の意見を取り入れるための会議体の設置などの取組みを実施してまいります。

※フィデューシャリー・デューティー…他者の信託を得た受任者が負う幅広い役割・責任

1. 「フィデューシャリー・デューティー・アクション」の制定

「貯蓄から投資へ」という運用ニーズの高まりが期待される中で、お客さまの中長期的な資産形成に資するために、今般、グループの資産運用ビジネスにおける行動基準として、「フィデューシャリー・デューティー・アクション」を制定いたします。

2. 「資産運用アドバイザー・コミッティ」の設置

資産運用ビジネスにかかる幅広いテーマに関して、社外の有識者からの助言や意見・提言を受けることにより、フィデューシャリー・デューティーを実践することを目的とした会議体として、「資産運用アドバイザー・コミッティ」を設置いたします。

3. 資産形成サポート力強化に向けた具体的な取組み

上記取組みに加え、お客さまへのライフプランシミュレーションに基づいた提案スタイルの展開や、お客さまの中長期分散投資の実現に向けた投資信託ファンドラインナップの整備など、資産運用ビジネスにおける具体的な取組みを進めてまいります。

以上

1. 「フィデューシャリー・デューティー・アクション」の概要

信託部門を有し、受託資産の運用と金融商品の販売双方のサービスを提供するりそなグループの従業員は、お客さまからの信頼を託された人（フィデューシャリー）として高い専門性と倫理観を持ち、真にお客さまのためとなる質の高い金融サービスを提供することで、お客さまの信頼に応えます

I お客さまの安定的な資産形成を応援します

- I-1 お持ちの金融資産の運用状況、市況環境やお客さまニーズの変化にあわせ、中長期的な視点から適切なアドバイスを行います
- I-2 お客さまの未来にむけて、より高いクオリティーの資産運用・管理態勢の実現を目指します

II お客さまのニーズに応え、質の高い金融商品・サービスを提供します

- II-1 銀行都合や系列にとらわれず、全てのお客さまに満足いただけるお客さま本位の商品の品揃えに努めます
- II-2 お客さまのライフイベント毎のニーズや、金融リテラシーにあわせた最適な商品のご提案に努めるとともに、分かり易い説明を行います

III コンサルティングや資産運用に高い専門性を有する人材組織を目指します

- III-1 ひとりひとりのお客さまにあわせた最適なご提案の実現を目指し、日々知識・スキルの習得に努めます
- III-2 資産運用の業務において、お客さま利益を追求する運用のプロフェッショナル集団を目指します

2. 資産運用アドバイザー・コミッティの概要

名 称	資産運用アドバイザー・コミッティ
委 員 (社外有識者)	浅岡 泰史 (オフィス カジワラ 1600 代表) 楠木 建 (一橋大学大学院国際企業戦略研究科/教授) 水口 剛 (高崎経済大学経済学部/教授) (委員 (社外有識者) の略歴は別紙の通りです)
参加予定者※	りそなグループ(りそな銀行、埼玉りそな銀行、近畿大阪銀行、りそなアセットマネジメント) 社長、信託部門担当役員、運用部門担当役員、個人部門担当役員、その他関係部署の役員等 ※会議テーマに応じ、参加予定者については見直しを実施してまいります。
内 容	資産運用ビジネスに係るテーマ・施策のPDCAの状況等幅広い内容について報告・議論

3. 資産形成サポート力強化に向けた取組み

項目	取組み内容
提案スタイル	ライフプランシミュレーションに基づく資産運用相談スタイルの展開
商品選定・管理・手数料	オープンアーキテクチャ戦略の堅持
	中長期分散投資の実現に向けた投資信託ファンドラインナップの整備
	販売手数料設定に係る社内基準の見直し
業績評価	お客さまの安定的資産形成の促進に資する業績評価体系への変更
営業店モニタリング	コンプライアンス強化に向けたモニタリング態勢の整備
資産運用の高度化	5 P (Philosophy, Process, People, Portfolio, Performance) に即した資産運用の高度化
スチュワードシップ活動	日本版スチュワードシップコードに基づいた責任投資の実践
運用プロダクト組成	お客さまの中長期的な資産形成に資する運用プロダクトの組成
販売部門へのアドバイザー業務	年金運用で培った運用サービスの提供

「資産運用アドバイザー・コミッティ」の委員（社外有識者）の略歴

浅岡 泰史（あさおか やすちか）氏

オフィス カジワラ 1600 代表、前 年金積立金管理運用独立行政法人(GPIF) 参与

1972年神戸商科大学管理科学科卒。同年、株式会社 野村総合研究所入社。ニューヨーク事務所勤務、債券数理研究室長・資産運用研究室長・兼野村年金マネジメント研究会担当部長等を歴任、1996年取締役、2000年常務取締役。2001年厚生年金基金連合会（現 企業年金基金連合会）常務理事兼運用執行理事。2005年パークレイズ・グローバル・インベスターズ株式会社（現ブラックロック・ジャパン株式会社）代表取締役社長。2007年ラッセル・インベストメント株式会社 エグゼクティブ・アドバイザー、2012年年金積立金管理運用独立行政法人(GPIF) 参与、2013年10月 オフィス カジワラ 1600 代表

<外部委員等>

日本証券アナリスト協会規律委員会委員、（公財）笹川平和財団資産運用委員会委員長、楽天証券株投信評価諮問委員会委員、（一社）個人の尊厳を護るための財産管理を考える会 顧問、ディメンショナル・ジャパン シニアアドバイザー（2015年4～12月）

楠木 建（くすのき けん）氏

一橋大学大学院国際企業戦略研究科教授

1992年一橋大学大学院商学研究科博士課程修了。一橋大学商学部専任講師、同大学同学部助教授、同大学イノベーション研究センター助教授、ボッコロニ大学経営大学院（イタリア・ミラノ）客員教授、同大学大学院国際企業戦略研究科准教授を経て、2010年から現職。

『経営センスの論理』（2013）、『戦略読書日記』（2013）、『ストーリーとしての競争戦略：優れた戦略の条件』（2010）等数多くの著作、論文等を発表。

<外部委員等>

マネックスグループ株式会社アドバイザーボードメンバー、旭硝子株式会社経営諮問委員、みさき投資株式会社経営諮問委員

水口 剛（みずぐち たけし）氏

高崎経済大学経済学部教授

1984年筑波大学第三学群社会工学類卒業。ニチメン、英和監査法人等を経て、1997年高崎経済大学経済学部講師、2007年より現職。主な研究分野は、責任投資、非財務情報開示、環境会計等。

日本公認会計士協会環境会計専門部会長、中央環境審議会「環境と金融専門委員会」委員などを歴任。2015年4月より1年間、ESG調査機関のEIRISを拠点にイギリス・ロンドンに滞在し、イギリス及びヨーロッパにおける責任投資の動向を調査した。主な著書に、『責任ある投資 ― 資金の流れで未来を変える』（2014年度環境経済・政策学会論壇賞）（2013）、『環境と金融・投資の潮流』（2011）、『社会を変える会計と投資』（2005）、『環境経営・会計（第2版）』（共著）（2012）などがある。

<外部委員等>

NPO法人社会的責任投資フォーラム共同代表理事